

## 令和4年度市有財産に関するサウンディング型市場調査結果

対象財産：(財産番号2) 尾道市因島フラワーセンター

提案事業者	提案内容
事業者A (サービス業者)	<b>【活用案】</b> 笑顔あふれるコミュニティー施設としての再生 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の現状は大きく変更せず、地域とも連携し、花きを中心としたソフト事業を展開</li> <li>・花きの魅力を活かしたグランピング施設の整備も検討</li> <li>・事業実施にあたっては、既存建物を活用</li> <li>・事業手法としては、指定管理や賃貸借、購入等の選択肢を検討中</li> </ul>
事業者B (サービス業者)	<b>【活用案】</b> グランピング施設又はサステナブルな農とアートの融合施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な立地及びインフラ設備を活かしたグランピング事業の誘致</li> <li>・尾道の文化的資源を活用し、若手芸術家等の文化芸術の集積地として再整備。事業化にあたって市の主体的な関与が必要</li> <li>・単なる農業公園、植物園としての事業化は困難</li> </ul>
事業者C (不動産業者)	<b>【活用案】</b> パークPFI手法を用いた施設維持管理費の軽減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設施設としての事業実施は困難。キッチンカー等を誘致し、その収益によって施設維持管理費を削減。常設の店舗は困難</li> <li>・事業手法としては、敷地の一部を行政財産使用許可等により活用</li> </ul>
事業者D (製造業者)	<b>【活用案】</b> バイオ炭を核とした事業開発・実証・研究開発の拠点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製品の製造、バイオ炭研究拠点として活用。また、バイオ炭を用いた実践的な農業研修の場を整備</li> <li>・事業実施にあたっては、一部の既存建物及び農地の活用を検討。将来的には敷地全体の活用を検討することも可能</li> <li>・事業手法としては、土地建物の購入を検討</li> </ul>